

## 大会時・コロナ禍までの取組

- ・2011年：同業二社で共同配送の検討開始
- ・2015年：同業一社が加わり、三社での共同配送を検討
- ・2019年：大会中のTDM取組予定をニュースリリース
- ・2020年1～3月：影響度マップ等を活用して対策検討
- ・2020年3月中旬：同業三社で課題の洗い出し・対策検討
- ・2020年3月～：既に導入していたテレワークの仕組を本格稼働
- ・2021年春頃：同業三社で協力依頼文を作成し、取引先に説明

## 人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリパラ コロナ禍

- テレワーク・・・実施率7割以上。従前より月2回実施など推進
- オフピーク通勤・・・既存のフレックス制度を活用
- 書類等の電子化・・・押印以外の伝票処理は従前より電子化済み

## その他取組

- 料飲店向けサーバーのメンテナンスについて、大会期間中は交通状況により、即時のスタッフ対応が難しい旨を周知することを検討。

## 物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリパラ コロナ禍 取引先に大会時の配送への影響を説明

同業三社で検討し、「リードタイム（時間指定）の緩和」「配送の平準化」の協力依頼文を作成し、取引先に説明

 共同配送

同業三社の配送拠点を共同で活用し、三社の配送をまとめることで積載率や配送距離を効率化（2011年開始、2015年拡大）

 物流効率化とトラック輸送の生産性向上

効率化による台数抑制や付帯作業見直し等でドライバーの負担を軽減

## 取組ポイント

- 会社全体でテレワークを推進し、制度として確立
- テレワークやフレックス制度の活用で、柔軟な勤務体制を可能に

## 取組ポイント

- 事前に運行ルート毎の所要時間を算定し、対策を検討
- 大会期間中は配送時の問題の有無や翌日の物量・配送台数を、より高頻度で共有
- 共同配送は各社で連携し、納品時の付帯作業緩和に努めた

## 今後の取組

## 人の流れ

## 継続して取組を実施予定

 リモートスタイル

テレワークを基本とした新しい働き方「リモートスタイル」を標準化。職種特性に応じた“多様な働き方”の確立を目指す

- ・全国の営業拠点の集約（55か所⇒26か所）
- ・生産部門のリモートスタイル構築に向けた取り組みを推進

 書類等の電子化

伝票処理の電子化やその他報告・申請書類の電子化を推進

## 物の流れ

 リードタイム（時間指定）の緩和（中一日配送） 共同配送の継続実施

物流効率化の観点で、継続して同業他社と連携

 付帯作業の廃止に向けた調整

ドライバーの環境改善に向けて、運送会社と連携し今後も継続して調整

## 【東京2020大会を振り返って】

- ・交通規制による影響は小口取引先ではなかったが、首都高の交通規制の影響で、車両が外環道や一般道へ流れ、渋滞による影響が少しあった。
- ・物流への影響の度合いによっては、取引先の協力を得た上での深夜納品等の取組も検討していた。
- ・無観客となり、取引先の飲食店等でも酒類提供の規制がかかったため、物量は想定より大幅に減少した。